



◆仙台市立病院の分べん料改定について

質問： 今回の分べん料改定は、平成26年度の新病院移転に伴い、上限額を現行の160,500円から200,500円に4万円値上げするものである。出産育児一時金の42万円を超えることは必定である。公明党は以前より50万円を目指すことを掲げており、実態に合った金額に改定するよう国に求めていくが、国が出産育児一時金を今後改定しても、一定の期間は、改定の分べん料は据え置くことを望むが、ご所見を伺う。

答弁： 当院の分べん料の改定に際しては、分べんに係る医師・助産婦・看護師等の人件費を基に試算を行い、併せて国の調査結果等も参考にしながら、自治体病院として子育て家庭の経済的負担を勘案して、金額を設定したものであり、国の出産育児一時金の改定による更なる見直しは考えていない。

◆成人の風しん予防接種について

質問： 今年の春先から初夏にかけて、全国で風しんが流行していた時期に妊婦が感染し、胎児にも感染して先天性風しん症候群に発症した赤ちゃんが今年になって25件。(11月20日現在) 昨年と比べると急増している。妊娠中の妊婦は予防接種が受けられないため、周囲の家族の接種が重要である。生まれてくる子どもを守るために、成人の風しん予防接種全額助成の更なる市民への周知と助成制度の継続をすべき。

答弁： 予防接種の周知については、引き続き啓発に努めてまいりたい。助成対象者の方には、助成事業が行われている年度内に接種していただきたいと考えている。国の来年度予算の概算要求の中に風しんの抗体検査費用への地方財政措置が盛り込まれているが、風しんの発生状況を注視しつつ、今後の対応を検討してまいりたい。

*先天性風しん症候群 風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症である風しんが、妊娠初期の女性に感染すると、胎児にも感染し、難聴、心疾患、白内障、精神や身体の発達の遅れ等の障がいをもった赤ちゃんが生まれる可能性があると言われており、その障がいをいう。

◆復興公営住宅の太白区茂庭台の整備について

質問： 本市は、復興公営住宅を新たに200戸追加整備することを決め、茂庭台団地内の看護学校北側に100戸整備予定とした。住民の増加に伴い、バスの増便や仙台村田線の道路拡幅整備、急勾配のため、道路に路面凍結防止の対策、林道整備など、さらなる利便性を図る取り組みが必要である。ご所見を伺う。

答弁： 復興公営住宅整備に伴う交通量への大きな影響はないものと認識している。道路等の安全・安心上課題のある箇所については、今後とも、地域の方々のご意見等を踏まえ、関係部局と連携しながら必要な対策について検討してまいりたい。

おしらせ

議会の傍聴・インターネット中継

議会の当日は市役所の西隣の議事堂で傍聴することができます。テレビ中継は市役所、各区役所、総合支所で行っています。インターネットでは仙台市議会→議会中継と検索しますと生中継しております。録画中継は発言日の3日後に行っておりますので、是非、ご覧いただければと思います。

◆◆◆ 皆さまの声をカタチにしました! (実績抜粋) ◆◆◆

■ 山田北前町37付近
(山田中学校の西側)街
灯3基交換



■ 荒川(富田字八幡東付
近)の橋の修繕



■ 歩道修繕整備

茂庭台1丁目20付近から茂庭台4丁目のバス停付近にかけて、バス道路沿いの歩道が、震災や老朽化に伴い隆起している箇所が9か所ありました。転倒した住民もあり、大変危険でありました。また、茂庭台小学校の北側通学路も10か所、地面が隆起しており、早速、道路課に申し入れし修繕完了しました。

■ 西多賀1丁目10・12付近の
旧286号線のグレーチング
(側溝の蓋)3ヶ所を滑り止めグ
レーチングに交換



整備前



整備後

